

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種証明アプリ 公開

日本政府が公式に提供する、新型コロナウイルスワクチン接種証明書を取得できるスマホのアプリです。

12月20日から公開され、ダウンロードして使えるようになりました。

登録にはマイナンバーカード、マイナンバーカードの暗証番号が必要です。

海外用の接種証明書の発行には、さらにパスポートが必要です

スマホのアプリの必要動作環境は

マイナンバーカードが読み取れる NFC 機能付 (NFC Type B 対応) スマホ

iPhone: iOS 13.7 以上

Android: Android 8.0 以上

iPhone は App Store、又 Android は Play ストアで「接種証明書アプリ」と検索してインストールができます

証明書は 国内用と海外用があり海外用の接種証明書の発行には、さらにパスポートが必要です。

デジタル庁の接種証明書アプリに関するお問合せは以下のページでどうぞ。

<https://www.digital.go.jp/policies/vaccinecert/contact>

【2】 パソコン用語解説

* 「Office 2021」と「Microsoft 365」

Windows 11 と同時に発売された「Office 2021」は Office 2019 の後継で買取方式のオフィスアプリです。

新製品のパソコンによっては最初から付属しています。

一方、「Microsoft 365」(旧名称 Office 365) は定額制(サブスクリプション: 月額払いと年額払い有) のオフィスアプリで、新機能が随時追加されるのが特徴です。

従って「Office 2021」同等以上の機能を持っているものですが、買取方式のオフィスは、新製品を購入しないと新機能追加はされません。

収録ソフトについては主に

- ・「Office 2021 Professional」では Word、Excel、Outlook
- ・「Office 2021 Home & Business」では Word/Excel/Outlook/PowerPoint
- ・「Office 2021 Professional」では Word/Excel/Outlook/PowerPoint

/Publisher/Access となっており、Word や Excel など単体でも購入が可能で、2019 版より多くの機能が追加され、操作性が向上しております。

なお、Windows は Windows 10、11 Mac は macOS 10.14、10.15、11 のみ対応でサポート期間は 2026 年後半予定となっております。

ちなみに Office 2013 は 2023 年 10 月、Office 2016 と Office 2019 は 2025 年 10 月となっており、Office 2010 は既にサポート終了しています。

【3】 パソコン Q & A

Q: Windows 11 の更新案内が表示されました。すぐに更新した方が良いでしょうか？

A: 更新は仕事上を除き、個々人のお使いになる使い方や考え方となります。

* 仕事でお使いの会計ソフトや取引先からインストール指示されたアプリは

